

進路だより

おおさかりつ こうとうしえんがっこうしんろしどうぶ
大阪府立すながわ高等支援学校進路指導部
れいわ ねん がついつちはっこう
令和5年3月1日発行

進路だより第4号でもお知らせしましたが、お休みの期間に「家事のお手伝いしたよ。」や「〇〇に挑戦し、有意義な時間を過ごした！」という人も多いかもしれませんね。来る3月3日には、第7回卒業式が挙行されます。3年生には、本校での学びを胸に社会へと大きく羽ばたき、笑顔で過ごしてほしいものです。

1・2年生のみなさんには、おめでとうと送り出す気持ちとともに、ぜひ1年後や2年後の自分たちの姿を思い描く機会にもしてほしいと思います。

3年生から2年生へ「先輩ゼミ」を行いました-

進路決定に向けて、たくさんの課題に向き合ってきた3年生から、もうすぐ3年生になる2年生に向けて“自分たちの経験や学び”を伝える「先輩ゼミ」を行いました。

進路決定までの道のりは、決して平坦なときだけではありません。採用を掛けた現場実習で良いお返事を貰えず、悩んだり落ち込んだり、逃げ出したい気持ちに負けそうになったり…。今まで以上に、自分の課題に真剣に向き合う機会になった3年生もいました。



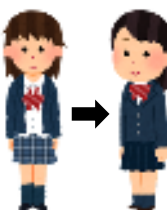
—今の内に、2年生に知っておいて欲しいこと—

いろいろと悩んだ経験から出る言葉たちを、真剣に受け取り質問する2年生の姿がありました。



履歴書では、自分の良さをしっかり伝えられる文章を書きたいです。少しでも枠に触れたり字を間違ったりしたら、完成間近でも最初から書き直します。私は10枚位書き直しました。丁寧な字が書けるように、普段からもっと練習してくれば良かったです。

現場実習では「失敗できない!」という思いから、なかなか相談ができませんでした。思い切って相談すると、同じ悩みを持っている方も居ると知り、一緒に改善策を考えてくれたので、思い切って相談して良かったです。



「身だしなみ」と「おしゃれ」は違うと学びました。社会人になるので、相手が不快に思わない身だしなみができるように、鏡を見て整えるように意識をしています。

企業に挑戦した前期実習で、良い結果が貰えず悩みました。保護者と相談して、福祉就労の中で力をつけて、企業就労をめざそうと決めました。

企業

福祉





3年生の現場実習は、「実際の勤務」に近い時間帯・内容で行うことがあります。私はバスに間に合うように、4時半には起きていました。4月からの新生活に向けて、春休み中から早寝早起きのリズムを継続していきます。

3年生はとにかく忙しいです。提出物を忘れると、取り返しがつかないことになることがあります。メモ帳をいつも持ち歩き、スケジュール帳で管理しました。一人ひとりの進路先によって進み具合の違う進路行事と、すながわ祭などの学校行事とを、気持ちを切り替えながら取り組むことが本当に大変でした。



私が採用された決め手は、「熱意をもって仕事に取り組んだ」ことだと思います。任せられた仕事を「とにかく一生懸命」取り組み、手が空いたときには「何かできることはありませんか」と、自分から積極的に質問しました。「この会社で働きたい！」という気持ちを、働く姿で伝えられるように意識しました。



2年生のみなさん。応援しています！



「先輩ゼミ」感想文より

3年生は、とにかく忙しいことが分かりました。評価が良くなくても挫折しがちだと思います！

人前に出て話すことが苦手ですが、面接もあるので、苦手でも頑張りたいと思いました。

3年生は、最初から上手だったのではなく、たくさん失敗しても就労に向けて努力していたのだと知れた。

面接では、頑張ったことを聞かれるみたいです。答えられるように苦手なことも、何でも頑張ります。

私は、身だしなみについて、先生や友達に注意されたときに、素直に聞きたいと思いました。

働いて自立をめざしているのに、1・2年生の頃と同じ支援を求めなくて良いように成長したいです。

働きたい熱意を、会社の方にどう伝えるかが難しいと感じました。自分ですっかり考えて伝えたいと思います。



4月からひとつずつ学年が上がります。あなたのために、「今できる努力」を積み重ねていきましょう。